



EMERSON

EM-272

ワックスマン3 ポリッシャー

エマーソン

WAX MAN 3

AC100V

取扱説明書

この度は「エマーソン ワックスマン3 ポリッシャー AC100V」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読み下さい。また、読み終わりましたもこの取扱説明書を大切に保管の上、必要の都度お読み返し下さい。

■各部名称



■専用消耗部品(別売) ※部品の劣化や損傷がある場合は、お早めに交換して下さい。

EM-272A WAX MAN3専用バフセット

塗り込み用バフ×2
仕上げ用バフ×1



■製品仕様

品番	EM-272
商品名	エマーソンワックスマン3 ポリッシャー AC100V
使用電源	AC100V
定格周波数	50/60Hz
消費電力	60W
定格使用時間	30分
回転数	4000回転/分
絶縁方法	二重絶縁
付属品	塗り込み用バフ×2 / 仕上げ用バフ×1
パッドサイズ	Φ152mm
コード長さ	5.0m
重量	本体重量1.51kg / 製品重量1.78kg
本体サイズ	幅257×高さ198×奥行152mm
材質	本体:ABS スポンジパッド:ポリウレタン・ポリエチレン 塗り込み用バフ:綿100% 仕上げ用バフ:ポリエステル74%・綿26%

□ 二重絶縁

二重絶縁マークを表示した製品は二重絶縁構造となっているため、アース(接地)する必要のない製品です。



4 975960 120968

この製品は日本国内で企画・設計し中国で生産しています。

※改良のため、予告なく仕様及び外観の変更をすることがあります。

■安全上のご注意

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

- 本製品を正しく安全にご使用頂くため、ご使用前にこの「安全上のご注意」を必ずお読みになり、よく理解したうえで正しくお使い下さい。
- この取扱説明書は大切に保管のうえ、ご使用中に分からなくなった時など、必要な都度、お読み返し下さい。また、他の人が使用する場合も同様です。
- ここに示す注意事項は、本製品を正しく、安全にご使用頂くためのもので、火災、感電、ケガなどを未然に防止するものです。

■使用上の注意と警告マーク

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容**を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、**人が損害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容**を示します。

■ご使用前の注意と警告

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。



警告

- 本製品は、自動車塗装面のワックス塗布、仕上げ作業を行うものです。本来の用途以外に使用しないで下さい。ガラス面やヘッドライト、メッキパーツ部などにはご使用になれません。
- 本製品は、AC100V専用です。AC100V以外の電源では使用しないで下さい。
- 本製品は、外国車、輸入車、には使用しないで下さい。車の塗装面が痛む恐れがあります。
- 塗装面の劣化が見られる車、再塗装車には使用しないで下さい。車の塗装面が痛む恐れがあります。
- DC/ACインバーターでは使用しないで下さい。本来の性能を発揮できないばかりか、故障の原因となります。
- ご使用の際、身体をアースされている物に接触させないで下さい。感電の恐れがあり大変危険です(例:パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)。
- 散らかった場所でのご使用は事故の原因となります。作業場をきれいに保ってください。
- 暗い場所での作業は事故の原因となります。十分に明るくして下さい。
- 作業員以外の人や子供が作業場に近づかないようにして下さい。また、作業員以外の人や人が本体やコードに触らないようにして下さい。
- ご使用の際、雨や水などがあたる場所、湿った場所、濡れた場所で使用しないで下さい。故障の原因となるばかりか、感電の恐れがあり大変危険です。
- 濡れた手で本製品に触れないで下さい。故障の原因となるばかりか、感電の恐れがあり大変危険です。
- 落雷時に電源コードに触れないで下さい。感電の恐れがあり大変危険です。
- 本製品は、周囲温度10℃～40℃の範囲内でご使用下さい。
- 火気の近くで使用しないで下さい。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えると故障の原因となりますので、十分に注意して下さい。
- 作業の際は、服装や髪にご注意下さい。だぶついた衣服、マフラー類やネクタイ、アクセサリー、長い髪、緩めの軍手など、回転部に巻込まれる可能性があり大変危険です。
- 作業の際は、安全保護具(保護メガネ、マスク)やゴム手袋などを装着し、滑り止め付きの履物で作業して下さい。



警告

- 電源コードの上に、本体や重たいものを置いたり、金具で固定しないで下さい。故障や断線の原因となり、感電や火災の恐れがあり大変危険です。
- 電源コードを持って運んだり、電源コードを引っ掛けてコンセントから電源プラグを抜くと、故障、または破損の原因となりますのでおやめ下さい。
- 本製品は、30分以上連続で使用しないで下さい。
- 投げる・落とす・叩くなどの衝撃を与えないで下さい。
- 本製品の分解・改造は絶対にやめて下さい。
- ご使用前に、本体やコード、部品に破損や変型がないか必ず確認して下さい。異常がある場合は使用を中止し、販売店もしくは本書記載の製造元へご連絡下さい。



注意

- 電源プラグをコンセントに差したまま放置しないで下さい。予期せぬ事故の原因となります。
- 本製品付属または専用別売品のパフをご使用下さい。
- ご使用前に、本体のスポンジパッドやパフ、車の表面に土や砂、ホコリなどのゴミが付着していない事をご確認下さい。そのまま使用しますと、車の塗装面にキズをつける原因となります。

■ご使用方法と使用上の注意

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。



警告

- 使用電源は必ず本製品に表示してある電圧(AC100V)で使用して下さい。表示を超える電圧でのご使用は、回転数が高速になりケガの原因となり大変危険です。
- ご使用の際、無理な姿勢での作業はおやめ下さい。ケガや破損、予期せぬ事故の原因となります。
- グリップ部は常に乾いた状態に保ってください。また、油やグリスなどが付かないよう注意して下さい。
- ご使用の際、本体グリップ部をしっかりと握って作業して下さい。本体が振り回される事があり、ケガや破損の原因となります。
- 本製品の使用中に、発煙や異臭、異音などの異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、販売店もしくは本書記載の製造元へご連絡下さい。



注意

- 作業中、パフを装着したまま地面などに置かないで下さい。土や砂、ホコリなどのゴミが付着し、車の塗装面にキズをつける原因となります。
- 作業中、本体を強く押し付けしないで下さい。ボディの凹みやキズなどの原因となります(特にアルミボディ車はご注意ください)。
- 炎天下での作業は、車の塗装面の表面温度が上がり、シミやムラの原因となりますのでおやめ下さい。
- ご使用の際は、一ヶ所に集中せず移動させながら作業して下さい。塗装面をキズつける恐れがあります。
- 作業中、電源コードは肩にかけてダブらせないようにして下さい。ボディに触れてキズがついたり、本体にコードを巻き込むなど思わぬ事故の原因となります。
- 作業の際、ワックスの塗り込みから拭き取りまでの一連の作業を、ボンネットやドアなどの車の各パネルごとに進めて下さい。ワックスの乾きすぎにより、拭き取り作業に支障が出る可能性があります。

<作業される前に>

- ⚠ ワックスやコーティング剤の取扱説明書をよくお読みいただき、作業手順・作業範囲・注意事項などをご確認下さい。

初めてご使用になる際は、使用開始後5分で一度電源スイッチを切り、異常がないかご確認下さい。発煙や異臭、異音などの異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、販売店もしくは本書記載の製造元へご連絡下さい。

■使用方法

<ワックス塗り込み作業>

- ①車用の洗浄剤などで洗車し、泥や汚れなどを十分に洗い流し、水滴を拭き取ったのち、車の塗装面をよく乾かして下さい。

- ⚠ 汚れが付いた状態で本製品を使用した場合、ボディにキズが付く可能性があります。

- ②電源プラグがコンセントに差し込まれていないこと、電源スイッチがOFFになっていることをご確認下さい。



- ③塗り込み用パフを本体のスポンジパットに、よれないようキチンと装着して下さい。



- ⚠ 土や砂、ホコリなどのゴミが付着していない事をご確認下さい。そのまま使用しますと、車の塗装面にキズをつける原因となります。

- ④パッド部を上に向け、パフ表面にワックスを全体に、まんべんなく塗布して下さい。
※半練りタイプのものはヘラなどを使って塗布して下さい。液状のものは約13cm程度の円状に均一になるように塗布して下さい。



- ⚠ 成分にコンパウンド(研磨剤)が含まれている薬剤などは使用しないで下さい。車の塗装面にキズをつける原因となります。市販のポリッシャー用のワックス、ノーコンパウンドのワックスを使用して下さい。

- ⑤電源スイッチがOFFになっていることを確認したのち、電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。また、作業の際は電源コードは肩にかけると、ボディとの接触を避け、安全に作業することができます。



- ⑥車のボディに本体を置き、アーム部とグリップ部を両手でしっかりと握った状態で電源スイッチをONにして下さい。その際、ボディに強く押し付けず、スムーズな移動を保てる程度の強さでワックス掛け作業をして下さい。



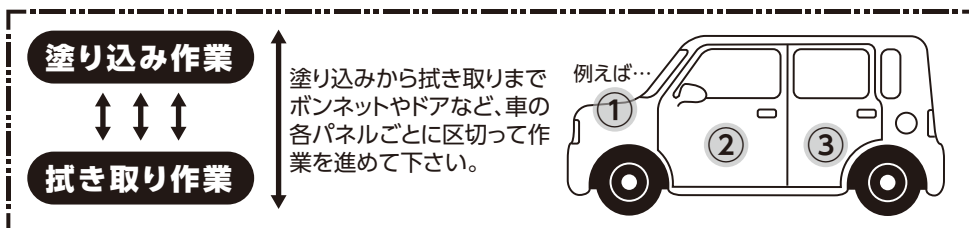
- ⚠ 作業中は必ずアーム部とグリップ部を両手でしっかりと握って下さい。片手で作業すると、本体が振り回される事があり、ケガや破損、塗装面のキズや凹みの原因となります。
⚠ 車のボディに置く前に本体の電源を入れてしまうと、ワックス剤が飛び散る恐れがあります。
⚠ 作業の際、ワックスの塗り込みから拭き取りまでボンネットやドアなど、車の各パネルごとに区切って作業を進めて下さい。ワックスの乾きすぎにより、拭き取り作業に支障が出る可能性があります。
⚠ 一ヶ所に集中せずに移動させながら作業して下さい。塗装面をキズつける恐れがあります。
⚠ 本製品は、30分以上連続で使用しないで下さい。

- ⑦作業終了後、電源スイッチをOFFにしたのちに、電源プラグを抜いて下さい。また、ポリッシャーで作業できない細部(ミラーやドアハンドル)については、本体から塗り込み用パフを取り外し、手作業して下さい。



- ⑧ワックスが乾いた後、きれいなタオルでワックスをよく拭き取って下さい。

- ⚠ 土や砂、ホコリなどのゴミが付着していない事をご確認下さい。そのまま使用しますと、車の塗装面にキズをつける原因となります。



<仕上げ作業>

- ②電源プラグがコンセントに差し込まれていないこと、電源スイッチがOFFになっていることをご確認ください。



- ③仕上げ用バフを本体のスポンジパットに、よれないようキチンと装着して下さい

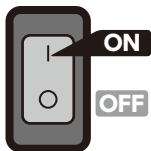


- ⚠ 土や砂、ホコリなどのゴミが付着していない事をご確認ください。そのまま使用しますと、車の塗装面にキズをつける原因となります。

- ⑤電源スイッチがOFFになっていることを確認したのち、電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。また、作業の際は電源コードは肩にかけると、ボディとの接触を避け、安全に作業することができます。



- ⑥車のボディに本体を置き、アーム部とグリップ部を両手でしっかりと握った状態で電源スイッチをONにして下さい。その際、ボディに強く押し付けず、スムーズな移動を保てる程度の強さで仕上げ作業をして下さい。



- ⚠ 作業中は必ずアーム部とグリップ部を両手でしっかりと握って下さい。片手で作業すると、本体が振り回される事があり、ケガや破損、塗装面のキズや凹みの原因となります。

- ⚠ 車のボディに置く前に本体の電源を入れてしまうと、ワックス剤が飛び散る恐れがあります。

- ⚠ 作業の際、ワックスの塗り込みから拭き取りまでボンネットやドアなど、車の各パネルごとに区切って作業を進めて下さい。ワックスの乾きすぎにより、拭き取り作業に支障が出る可能性があります。

- ⚠ 一ヶ所に集中せずに移動させながら作業して下さい。塗装面にキズつける恐れがあります。

- ⚠ 本製品は、30分以上連続で使用しないで下さい。

- ⑦作業終了後、電源スイッチをOFFにしたのちに、電源プラグを抜いて下さい。また、ポリッシャーで作業できない細部(ミラーやドアハンドル)については、本体から仕上げ用バフを取り外し、手作業して下さい。



- ⚠ 土や砂、ホコリなどのゴミが付着していない事をご確認ください。そのまま使用しますと、車の塗装面にキズをつける原因となります。

- ⑧ご使用後のバフは中性洗剤で手洗いしたのち、陰干して下さい。

◆屋外で使えるソフト延長コード!! 防塵キャップ付きコネクター!!



コード材質	導体仕様	定格電流	定格電圧	許容消費電力
VCT	0.75mm ² 2芯	7A	125V	700W まで

エマーソン 防雨型延長コード 10M
EM-245 (別売品)

■メンテナンス

⚠ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

⚠ 警告	●電源コードは定期的に点検して下さい。損傷している場合は、販売店もしくは本書記載の製造元へご連絡下さい。 ●点検やメンテナンスの際は、必ず、電源プラグを電源コンセントから抜いた状態で行って下さい。誤って電源スイッチに触れた場合、ケガの原因となり大変危険です。
⚠ 注意	●本体のお手入れは、乾いた布か水気をよく絞った布で拭き取って下さい。薬剤などはご使用にならないで下さい。変形・変色の原因となります。 ●保管の際は、バフを取り外し、直射日光や、雨や水のあたる場所、高温・多湿になる場所を避けて保管して下さい。

■万が一、事故や損害が発生した場合について

万が一、本製品の欠陥が原因となり事故や損害が発生した場合は、直ちに発売元までご連絡下さい。また、原因の究明にあたって、下記のような必要最小限の情報のご提供や、現品の回収をお願いする事があります。調査前に処分されないようお願い致します。

- 事故の詳細
- 使用状況
- 現品回収
- 損害のあった物の写真
- 医療機関の診断書
- その他、事故や損害の状況に応じて必要な情報など